

2018 8/14

No.2072

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



相模原市南区磯部の相模川で5日、復元された帆かけ舟の実演会が行われた。猛暑の中、川面を静かに走る舟の様子を見物客が伴走舟に乗って見学し、水辺の涼しさを楽しんだ。地元有志でつくる相模原市磯部民俗資料保存会の主催。



## contents

視点・点描	3
「1勝の格差」の是正も	
講演録	4
天皇陛下のお気持ち ～退位が及ぼす影響 皇室ジャーナリスト 山下 晋司	
政治	8
夏休み、憲法をもっと身近に シリーズ“はじめの一步”～番外編	
社会	10
マイナンバー3年目の正念場 三層構造モデルで積極的展開を	
政治	12
アベノミクス、自信持って推進 菅氏講演、デフレ脱却目指す	
企業最前線	14
沸き立つコーヒー市場 専用マシンで新規需要 「抽出」	
暮らし2018	16
高齢者の就労と年金	
アジアの風	18
脅威は外交で減らせる	
NNAアジア経済レポート	19

### 事務局だより

#### ◇2018年8月定例講演会

2018年8月30日(木)

午後1時30分～3時

ホテルニューグランド本館2階

「レインボーボールルーム」

講師は慶應義塾大学准教授の

磯崎敦仁さん

演題は「激動の北朝鮮情勢と

日本」

#### ◇2018年9月定例講演会

2018年9月19日(水)

午後1時30分～3時

ホテルモントレ横浜3階「ビク

トリア」

講師はインサイドライン編集

長の歳川隆雄さん

演題は「自民党総裁選と日本

の行方」



# 視点 点描



## 「1勝の格差」の是正も

何とも評判が悪い。自民党が強引に成立させた参院定数6増の改正公選法。隣接県を一つの選挙区とする「合区」であぶれる現職を救うのが目的で、難解な仕組みを導入。一部の選挙区に加え、比例の定数も4増した「お手盛り」だ。自民党は「鳥取・島根」「徳島・高知」の二つの合区に、来夏改選となる4人の現職を抱える。出馬

できなくなる2人を救うため、比例代表に特定枠を導入した。特定枠は、政党が事前に決めた順位に従い当選者を決める拘束名簿式。有権者が候補者名で投票できる現行の非拘束名簿式と混在する上、特定枠を設けるかどうかも各党に委ねられている。さらに、特定枠は得票数に関わらず優先的に当選できるため、民意がゆがむ

恐れがある。

野党から「自民党の自民党による自民党のための改悪」「権力ばけ」との批判が噴出したほか、自党内からも「定数増は国民に理解されない」との声が上がった。

共同通信社が実施した全国電話世論調査でも「問題だ」とした人が55・6%で、「問題ではない」の27・6%を大きく上回った。

不評な制度の誕生には、どんな背景があったのか。大義名分は、「1票の格差」是正だ。

2013年参院選の最大格差は4・77倍。これを違憲状態とする最高裁判断を受けて16年参院選から合区を導入したのが、今回の改正の源流だ。

「1票の格差」是正の根拠は憲法が定める「法の下の平等」。参院定数6増のような「お手盛り」は好ましくないが、この季節になると「法の下の平等」に鑑み、格

差を考慮してしまうことがある。夏の甲子園、全国高校野球選手権大会の代表決定方法だ。

100回の節目となる今回は神奈川県から2校が出場するが、通常は1校しか出場できない。今夏は神奈川大会に出場したのは計186高校。優勝して甲子園に行くには、少なくとも7回、多ければ8回勝たなければならない。

一方、県によっては20校あまりしか出場校がないところもあり、少なければ4回、多くても5回勝てば優勝できる地域もある。2倍に及ぶ「1勝の格差」があるのだ。各地域から代表を出す場合、1票も1勝も格差を完全になくすることは不可能だろうが、大方が許容できる範囲で線を引くべきだろう。「1勝の格差」は、もつと注目されていい。

(神奈川県新聞社報道部長

渋谷 文彦)